

平成21年度 決算報告書

国立大学法人 小樽商科大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,532	1,479	△52	(注1)
施設整備費補助金	384	279	△105	(注2)
補助金等収入	6	80	74	(注3)
国立大学財務・経営以外-施設費交付金	16	16	—	
自己収入	1,378	1,359	△18	
授業料及び入学金及び検定料収入	1,351	1,318	△32	(注4)
雑収入	26	40	14	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入	47	103	55	(注6)
引当金取崩額	—	0	0	
目的積立金取崩	269	255	△14	(注7)
計	3,634	3,574	△60	
支出				
業務費	2,415	2,269	△146	(注8)
教育研究経費	2,415	2,269	△146	
一般管理費	764	818	53	(注9)
施設整備費	400	295	△105	(注10)
補助金等	6	80	74	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	47	50	2	(注12)
計	3,634	3,513	△120	
収入-支出	—	60	60	

○予算と決算の差異について

(注1) 退職手当にかかる前年度以前の収入決算額を予算額に含めたため、予算額に比して決算額が52百万円少額となっております。

(注2) 施設整備費補助金については、交付対象事業が予定よりも安価に実施できたことにより、予算額に比して決算額が105百万円少額となっております。

(注3) 予算段階では予定していなかった平成21年度第1号補正予算が措置されたことから、予算額に比して決算額が74百万円多額となっております。

(注4) 授業料及び入学金及び検定料については、主に授業料において留年者数の減少による在籍者数の減及び、平成21年度後期授業料の授業料免除枠を拡大したことから、予算金額に比して決算額が32百万円少額となっております。

- (注5) 雑収入については、主として科学研究費補助金間接経費、財務収益の増収に努めたため、予算額に比して決算額が14百万円多額となっております。
- (注6) 寄附金及び民間からの受託研究の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が55百万円多額となっております。
- (注7) 目的積立金取崩については、学生寮新営工事費が予定よりも安価に実施できたことなどにより、予算額に比して決算額が14百万円少額となっております。
- (注8) 業務費については、予定していた教員採用数に満たなかったこと、学生寮の新営工事費が予定よりも安価に実施できたことや、光熱水料等の経費の削減に努めたことから、予算額に比して決算額が146百万円少額となっております。
- (注9) 一般管理費については、百周年記念事業の伸展に伴い、展示室の整備等、平成22年度に行う予定であった工事などを前倒して行ったため、予算額に比して決算額が53百万円多額となっております。
- (注10) (注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が105百万円少額となっております。
- (注11) (注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が74百万円多額となっております。
- (注12) (注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が2百万円多額となっております。